

PRESENTATION

こうこうそつぎようご
高校卒業後の
しんろせんたく
進路選択について

かぶしきがいしゃ しんろじょうほう
株式会社 進路情報ネットワーク

この資料は、社会福祉法人さぼうとにじゅういちが、平成30年度文化庁「生活者としての外国人のための日本語教育事業」を受託し、作成しています。

内容については、2019（平成31）年3月時点の情報をもとにしています。



もくじ 目次



PRESENTATION

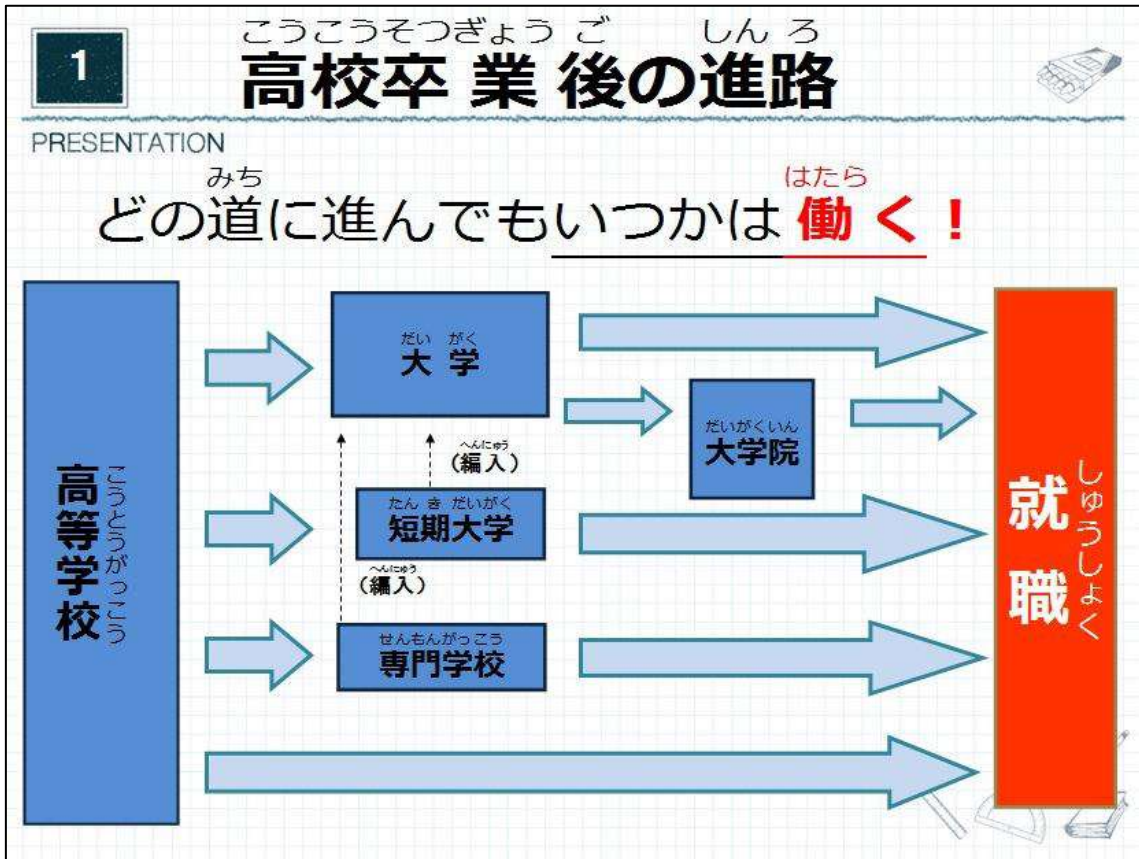
しん ろ せんたく たいせつ
◆進路選択で大切なこと【No.1-6】

しんがくさき とくちょう
◆進学先の特徴【No.7-12】

にゅうし しゅるい
◆入試の種類【No.13】

しんがく ひつよう かね がくひ
◆進学に必要なお金（学費）【No.14-34】





高校卒業後の進路を考える皆さんは、「どんな仕事に就こうか?」「どこへ進学しようか?」と、悩むことも多いと思います。

まず知っておいてもらいたい事は、「どの道に進んでも、いつかは働く」ということです。「今の自分が学びたいこと」だけ考えて進学先を選び、その後の就職活動で苦勞する人もいます。

高校卒業後の進路を考える時には、「学びたいこと」を考えるだけでなく、その後の「働くこと」についてもよく考えましょう。

社会へ出た後は、「仕事」が中心の生活に変わっていきます。人生の中で「働く」時間を、皆さんはどのように過ごしたいでしょうか。

働く理由は、「生活のためのお金を得る」、働くことで、やりがいを感じたり、人に感謝されたりして「充実感を持って生きる」ことにもつながります。

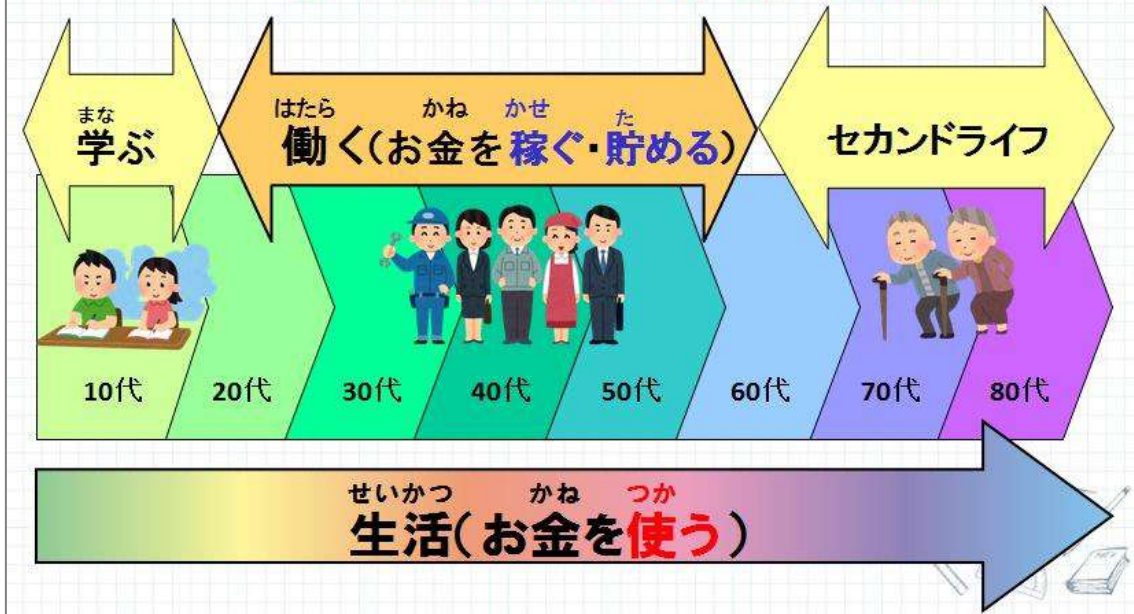
「どのように働きたいか」を考えることは、「どのように生きていきたいか」を考えることでもあります。

自分自身と向き合い、仕事の情報を集めながら、じっくりと考えていきましょう。

2

じんせい
人生のグラフ

PRESENTATION

かんが
ライフプランを考える

仕事と生き方を考える時、もう一つ大切なことがあります。それは「ライフプランを考える」ことです。

日本の会社は2019年現在、基本的には60歳で退職します(定年退職)。60歳になった後、それまでと同じようにお金を稼いでいくことは、なかなか難しいです。年金制度もありますが、年金だけで生活していくこともなかなか難しいです。

定年退職をした後も、ずっとお金が必要です。60歳までに、その後の生活(セカンドライフ)のために貯金する(お金を貯める)必要があります。

「今の生活」だけではなく、年をとってからのセカンドライフも考えておかなければなりません。

では、今後自分がどのように生きていきたいか、「ライフプラン」を考えてみましょう。

「結婚式をしたい」、「子どもを育てたい」、「家を買いたい」、「車を買いたい」など、色々な希望があるでしょう。それにはどのくらいお金がかかるのでしょうか。どれも多くのお金が必要になります。

正社員として働くと、フリーター(アルバイト)として働くのと比べて、生涯賃金(一生をかけて稼ぐお金の合計)は、1億3500万円も多いとも言われています。「自分の希望の人生を実現するためには、ライフプランを考えることが、とても大切です。



PRESENTATION

しょくぎょう りかい
★職業について理解する



しごとないよう きび
① 仕事内容 (やりがい・厳しさなども)

きゅうりょう きんむ じかん たいぐう せいかつ
② 給料・勤務時間・待遇 (生活できるか?)

しょくぎょう つかのうせい
③ 職業に就ける可能性は?

きぼう しょくぎょう ゆうり ひつよう しんろ
④ 希望する職業に有利(必要)な進路は?



では、「進路選択で大切なこと」を考えましょう。

まず一つは、職業を決める前に、気になる職業をよく調べて、「職業についてよく理解する」ことです。職業については、特に知っておきたい4つのポイントがあります。

① 仕事内容

仕事の「やりがい」だけでなく、「厳しさ」についても知っておきましょう。その仕事が多量に厳しくても、あなたは耐えられますか。

② 給料・勤務時間・待遇

お給料はいくらか、一日何時間くらい働くのか、休日はどれくらいもらえるのかなど、現実的な部分もよく考えましょう。

③ その職業に就ける可能性

その職業に就ける人は何人ぐらいなのか、何パーセントぐらいなのかを考えましょう。

④ 希望する職業に有利な進路(必要な進路)

自分が希望する仕事に就くことができる条件や、その仕事に就くために有利になる条件も調べてから、本当に進学する必要があるのか確認しておきましょう。

仕事の具体的なポイントを調べるためには、

- ① ホームページや本を読む ② ニュースを見て最新情報を知る ③ 職業体験に参加する
④ 実際に働いている人に聞く(インタビュー)などがおすすめです。

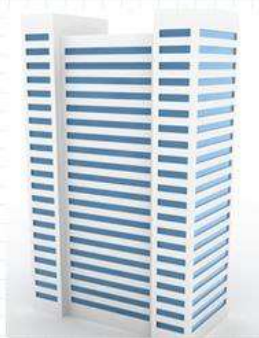
4

しん ろ せんたく たいせつ
進路選択で大切なこと



PRESENTATION

がくれき はたら かた ちが し
★学歴による働き方の違いを知る



ほんしゃ
本社

れい じ どうしゃ かか しごと
(例)自動車に関わる仕事がしたい



はんばいてん
販売店



こうじょう
工場

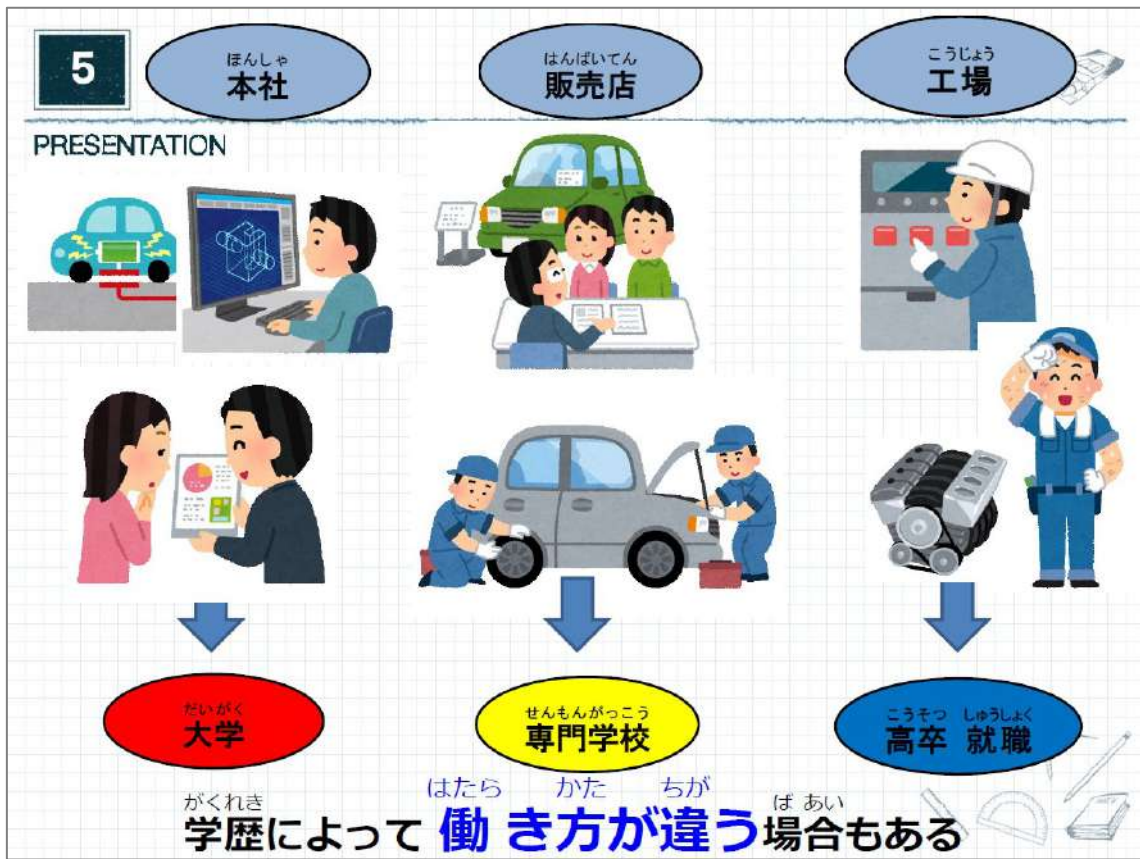
進路選択で大切なこと、もう一つは「学歴による働き方の違いを知る」ことです。

皆さんが、将来の仕事を選ぶときに、「具体的な職業」というより、「●●に関わって働きたい」「こんな風に働きたい」と考えることがあるかもしれません。

仕事には、学歴によって、「働き方」や「働く場所」が違う場合があります。

例えば、「自動車に関わる仕事がしたい」と言っても、「働く場所」は色々あります。

様々なことを決めて会社全体を動かしている「本社」、実際にお客様と接して商品を買っている「販売店」、商品を製造している「工場」などです。

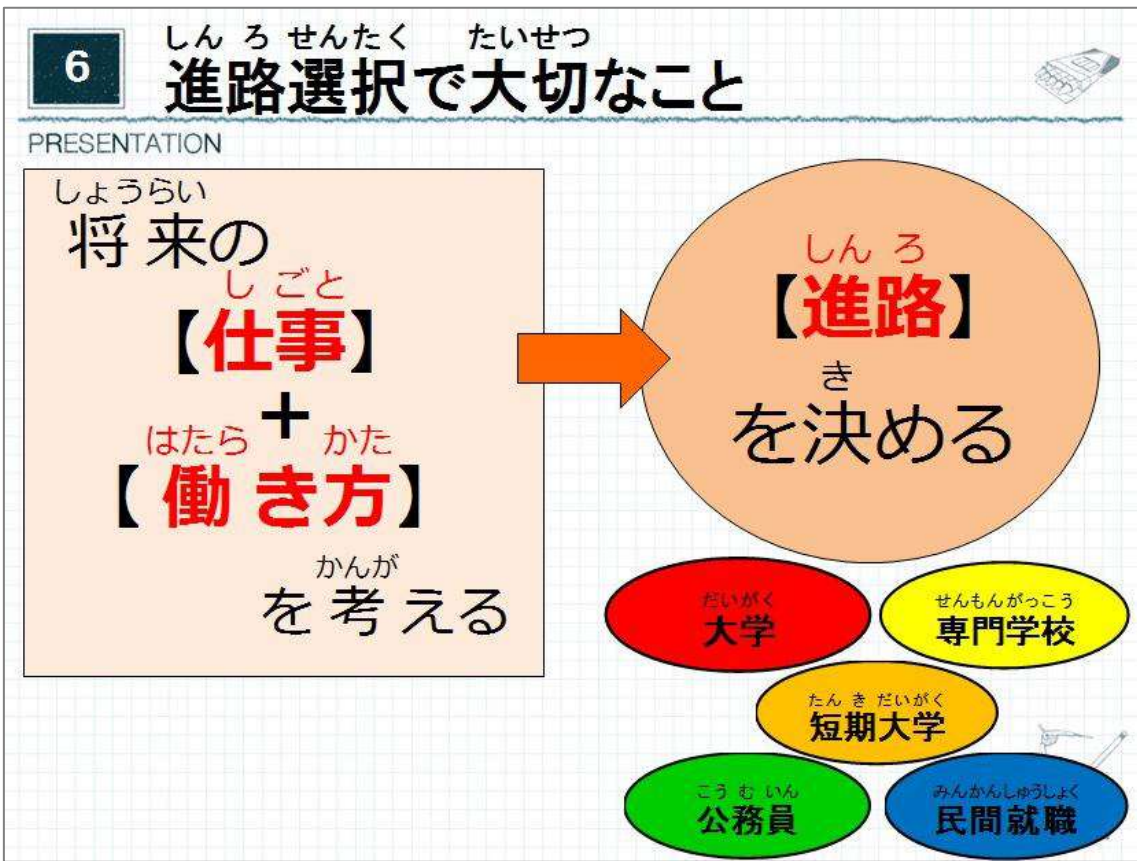


まず「本社」には、色々な仕事の人があります。「研究職」、「企画職」、「デザイナー」、「広報」、「営業職」、「人事」、「総務」、「財務・経理」などです。他にも様々な仕事があって、会社全体を動かす仕事をしています。

次に「販売店」では、お客様と接する現場の人が働いています。「ディーラー」、「自動車整備士」、「事務職」などの仕事の人働いています。

最後に、「工場」では「製造職」の人が多く働いています。

「自動車に関わる仕事」と一言と言っても、様々な働き方があります。例外もありますが、これらの仕事は「学歴」で決まることが多いです。たとえば「本社」の仕事では、「大学」を卒業した人がとても多いです。「販売店」の仕事では「専門学校」を卒業した人が多く働いています。（ディーラーには「大卒＝大学卒業者」も多いです。）「工場」の仕事では、「高校」卒業後、すぐに就職した人が多いです。（もちろん大卒・短大卒など様々な人がいます。）なぜ働き方が学歴で変わってくるのでしょうか。卒業した学校の特徴から、「大卒」は、専門知識と教養を活かした対応力・総合力がある人、として判断され、「専門学校卒」は、現場の即戦力として働くための専門知識・技術がある人、として判断されることが多いです。もちろん、本人の努力や適性があり、学歴に関係なく活躍している人はたくさんいますが、もしも「自分が望む働き方」が決まっているなら、適した進路を選ぶことが、その夢を叶える近道になるでしょう。



ここまでのポイントをまとめます。

高校生の進路選択で大切なことは、

自分が目指したい「将来の【仕事】と【働き方】を考える」ことです。

そして、自分の目指すものに合ったものを選んで、「【進路】を決める」ことです。

「本当はこういう仕事をしたかったのに」、「やっぱり大学に行っておけばよかった」、「専門学校に行っておいた方が良かったかもしれない」。

こんな後悔をしないように、今のうちからしっかりと「将来の仕事と働き方」を考えておきましょう。

そして、「とりあえず大学に行っておけば何とかなるだろう」、「どこでもいいから専門学校に行っておいて資格を取ろう」などと考えて進路を決めてしまっただけでは、仕事を選ぶ時にミスマッチになることが多いのです。

高校卒業後の進路（大学・短大・専門学校・民間就職・公務員など）、それぞれの特徴をしっかりと知った上で選ぶようにしましょう。

7

しんがくさき とくちょう

進学先の特徴

だいがく

大学



PRESENTATION

ねんかん い し やく じゅうい ねんかん

4年間(医・歯・薬・獣医は6年間)

せんもんぶん や がくもん けんきゅう

★専門分野の学問・研究

ふか しら かんが とうろん

深く調べる・考える・討論する

ほうそく じじつ あき

⇒法則・事実を明らかにする

はばひろ きょうよう み

★幅広い教養を身につける

ご がく けいざい ほうりつ しんり がく きょういく

語学・経済・法律・心理学・教育…

じゅうなん おうようりよく もんだいかいけつりよく

⇒柔軟な応用力・問題解決力







まず「大学」。大学は、基本的には4年間通いますが、医学・歯学・薬学・獣医学は6年間通います。

大学は、「専門分野の学問・研究」を行い、「幅広い教養を身に付ける」ための場所です。

「専門分野の学問・研究」とは、1つの学問分野について、深く調べたり、考えたり、討論したりして、世の中の法則や事実を明らかにしていきます。

大学では、学部・学科・専攻などを選んで、自分が深く学びたいものを決めます。その学問についての講義を受けたり、調べてレポートにまとめたり、ゼミナール(ゼミ)という少人数の研究グループで討論したり、研究結果を発表しあったりして、学びを深めます。

「幅広い教養を身に付ける」とは、様々な知識や幅広い価値観を身に付けることです。もし、あなたが大学で「経済学部」を選んだ場合も、経済に関わる授業(専門分野)以外に、外国語(英語、フランス語など)、法律、心理、教育、スポーツ、生物、歴史など、様々な授業を受けます。

こうした教養は、柔軟な応用力・問題解決力を身に付けることにもつながります。1つの学問では解決できない、様々な原因が複雑にからみ合った社会問題にも対応できるようになります。このように、大学では、「深い専門知識」と「幅広い教養」を身に付けます。



PRESENTATION

 じ かんわり じ ぶん き
 ◆ **時間割は自分で決める**

 じ ゆう じ かん おお
 ◆ **自由な時間が多い**

 こう ぎ とうろん はっぴょう おお
 ◆ **講義・レポート・討論・発表が多い**

 しょうらい し ごと せんたくし はばひろ
 ◆ **将来、仕事の選択肢は幅広い**

その他の「大学の特徵」について、いくつか紹介します。

・「時間割は自分で決める」

大学生は、基本的に自分で時間割を決めます。専門科目には、必修授業（必ず取らなければいけない授業）も多いですが、そのほかの専門科目や教養科目では、自分の興味があるものから自由に選んで良い場合が多いです。他の学部の授業を受けることもできます。

・「自由な時間が多い」

時間割を自分で決めることができるので、上手に授業を選べば、「水曜日は午後の授業なし」「金曜日は一日休み」など、自由な時間を作ることができます。また夏休み・春休みの期間も長いです。こうした自由な時間は、勉強、資格取得、インターンシップ、アルバイト、留学、サークルなど様々な形で活かせば、自分の成長に繋げることができます。

・「講義・レポート・討論・発表が多い」

大学の授業では、何かのテーマで調べた結果や考えたこと（考察）などをレポートにまとめます。討論や発表（プレゼンテーション）も多く、人前で話す機会が多くあります。

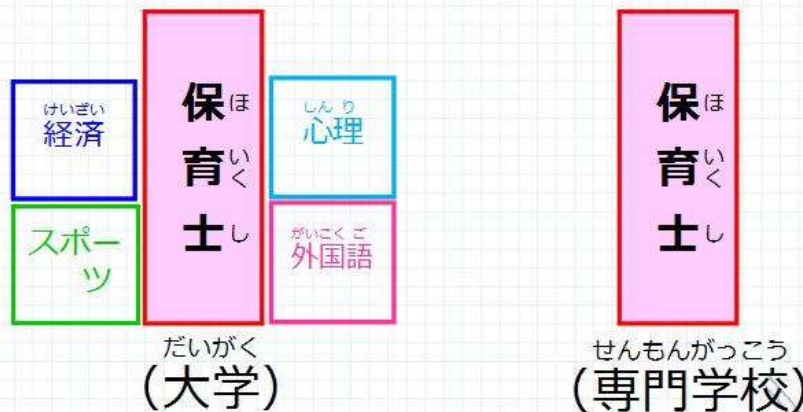
・「将来、仕事の選択肢は幅広い」

専門科目だけでなく、教養科目など、様々なことを学んでいるので、大卒は社会に出ると「総合力がある」と判断されます。専門で学んできた分野だけでなく、専門分野以外の就職をすることができます。



PRESENTATION

しごと ひつよう とっか
仕事に必要なことに特化して
たん き かん べんきょう
短期間で勉強する



専門学校の大きな特徴は、「仕事に必要なことに特化して、短期間で勉強する」ことです。専門分野の学びの外にも、教養（様々な勉強）を学ぶ「大学」とは違います。

例えば、「保育」コースについて、大学と専門学校を比べてみましょう。

大学の保育コースでは、保育士に関わる学びを中心にを行います。専門科目の保育以外にも、経済や心理、外国語、スポーツなど様々な教養科目を、4年間かけて学びます。

専門学校の保育コースでは、保育士に関わる学びだけを、2年間で行います。保育士に関係ない授業はほとんどありません。現場に出てすぐに活かせるような実践的技術を多く学びます。

同じ保育コースでも、大学と専門学校では学ぶ目的が異なるので、内容も違いがあります。

11

進学先の特徴

せんもんがっこう
専門学校



PRESENTATION

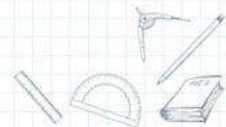
◆職業に直結した学び（手に職をつける）

◆短期間で学ぶ（必修授業がほとんど）

◆実習が多い（もちろん座学もある）

◆遅刻・欠席に厳しい（おいていかれる）

◆仕事の選択肢は限定される



専門学校の特徴をまとめてみましょう。

・「職業に直結した学び」

専門学校では、仕事に就いたときに本当に活かせるように、「手に職をつける」学びが中心です。

・「短期間で学ぶ」

仕事に必要なだと判断された、大切な授業がぎっしりと詰まったカリキュラムです。ほとんどが必修授業です。大学とちがって、あまり自由に授業を選ぶことはできません。

・「実習が多い」

確かな技術を身に付けるために、学校によっては実習の時間が授業の半分以上を占めます。しかし、座学（講義）を受けて勉強をする時間ももちろんありますから、高校までの勉強を大切に、基礎学力をしっかりとつけておきましょう。

・「遅刻・欠席に厳しい」

カリキュラムがぎっしりと詰まっているので、実習は休んでしまうと再度受けることができません。ですから、専門学校は遅刻や欠席にかなり厳しいです。

・「仕事の選択肢は限定される」

学んできた分野の仕事には就きやすくなりますが、仕事の選択肢はあまりありません。専門学校に進学することは「仕事を決める」ことに近いのです。



PRESENTATION

ねんがん ねんがん
2年間 または 3年間

だいがく

◆大学(教養科目・専門科目)と

せんもんがっこう

◆専門学校(職業・実習)両方の特徴を持つ

みじか

じかん

まな

◆短い時間でたくさん学ぶ

がくぶ

がつか

げんてい

◆学部・学科は限定される

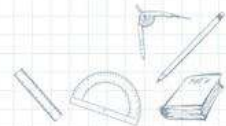
しょうらい

しこと

せんたくし

はばひろ

◆将来、仕事の選択肢は幅広い



最後に、「短期大学」についてです。

短期大学には、2年制と3年制があります。

短期大学は、「大学・専門学校の両方の特徴」をもっています。

短期大学では、大学と同じように専門科目と教養科目を学びます。また、「就職」「職業」を意識した授業や実習、資格の勉強など「専門学校的な学び」も行うので、大学と専門学校、両方の特徴を持つ学校だと言えるでしょう。

・「短い時間でたくさん学ぶ」

2年か3年で、4年制の大学と同じくらいの量の勉強をするので、短い時間でたくさん学びます。授業が詰まっている分、大学よりも自由な時間は少ないです。

・「学部・学科は限定される」

学べる分野の種類は大学よりも少なく、女子しか入学できない短期大学もあります。

・「将来、仕事の選択肢は幅広い」

様々な学びをしてきているので、専門分野だけでなく、幅広い選択肢の中から仕事を選ぶことができます。

13

にゅうし しゅるい きほんけい 入試の種類(基本形)



PRESENTATION

そう ごう がた せん ばつ
総合型選抜

もと にゅうし
(元のAO入試)

がっこう すい せん がた せん ばつ
学校推薦型選抜

(元の推薦入試)

もと すい せん にゅうし

いっ ぱん せん ばつ
一般選抜

もと いっ ぱん にゅうし
(元の一般入試)

しけん
センター試験
り よう にゅうし
利用入試
だい がく にゅう がく きょうつう
(大学入学共通テスト)



大学・短大・専門学校に入学するには、入学するための試験（入試）があります。

※2020年度から実施される大学入試改革により、入試の名称や試験内容に変更があります、

【総合型選抜入試】（元のAO入試） 時期：9月～（2019年度までは8月～）

「アドミッション・ポリシー」（学校側が入学してほしい理想の学生像）に合う生徒を選抜します。試験は、書類・面接・小論文・課題提出・プレゼンテーション・実技など、学校によって異なります。合格したら、入学は辞退できません。

【学校推薦型選抜】（元の推薦入試） 時期：（大学・短大）11月～（専門学校）10月～
成績、出席状況、素行などを見て、高校から推薦された生徒だけ受けすることができます。「指定校推薦」は指定を受けた高校から数名だけ受験することができます。「公募制推薦」は誰でも受験することができます。試験は主に、書類・面接・小論文などです。

【一般選抜】（元の一般入試） 時期：（大学・短大）2月～（専門学校）11月～
（大学・短大）筆記試験だけで入学者を決めます。受験する学部・学科によって受験科目は異なります。受験科目が多いので、受験対策は早めに始めましょう。

（専門学校）職業の適性を見るために、筆記試験以外にも面接を行う学校があります。

【センター試験利用入試】 時期：1月～（大学・短大のみ）

1月に一斉に実施する「大学入試センター試験」の点数だけで合否（合格か不合格か）を判定する試験です。国立大学では「1次試験」として、必ず受けなければなりません。



- しんがく ひつよう ひよう
1. 進学に必要な費用 【No.15-19】
- し はらいほうほう じ き
2. 支払方法と時期 【No.20-25】
- しんがくし きん こま
3. 進学資金に困ったら… 【No.26-34】



ここからは「進学に必要なお金（学費）について」説明します。

今、学費のことで問題を抱えている人が沢山います。

- ・一生懸命に勉強を頑張っ、せっかく入試に合格したのに、入学前に必要な学費が払えず、結局入学を辞退しなければいけなかった。
- ・1年目は学費が払えたけれど、2年目からはお金が払えなくなり、学校を中退しなければならなかった。
- ・奨学金を多く借りたけれど、返済ができず、借金が多くなって、自己破産してしまった。

こんなことにならないためには、進学費用について、「いくらのお金が、いつごろまでに必要になるのか」を早めに知って、準備しておかなければなりません。

【1】 進学に必要な費用 【2】 支払方法と時期 【3】 進学資金に困ったら... の3つに分けて見ていきます。

15

進学に必要な費用

PRESENTATION

支払う費用の合計(目安)

	ねんめ 1年目 <small>しよなんど ごうけい</small> (初年度合計)	ねんめ 2年目	ねんめ 3年目	ねんめ 4年目	もつぎよ 卒業までの ごうけいもんがく 合計金額
こくりつだい 国立大	約 80 万円	約 50 万円	約 50 万円	約 50 万円	約 230 万円
しだいぶんけい 私大文系	約 115 万円	約 90 万円	約 90 万円	約 90 万円	約 380 万円
しだいいりけい 私大理系	約 150 万円	約 125 万円	約 125 万円	約 125 万円	約 525 万円
たんだい ねん 短大 (2年)	約 112 万円	約 90 万円	-	-	約 202 万円
せんもん ねん 専門 (2年)	約 120 万円	約 100 万円	-	-	約 220 万円

(注) ・上記は平均であり、学校によってはこれ以上かかることもある。
・医学系の学校は含まれていない。

次に、進学に必要な費用の合計（目安）を見てみましょう。

入学から卒業するまでに、どのくらいのお金が必要になるか、しっかり知っておきましょう。

※金額については、あくまで目安です。学校によって金額は大きく異なります。学校によってはこれ以上必要な場合があります。金額については各学校に問い合わせてください。

※目安の金額は、初年度学生納付金平均額を元に、概数を表示しています。

※今回は、受験料を除いて算出しています。

- ・国立大学...卒業までの4年間で、約230万円
- ・私立大学（文系）...卒業までの4年間で、約380万円
- ・私立大学（理系）...卒業までの4年間で、約525万円
- ・短期大学（2年制の場合）...卒業までの2年間で、約202万円
- ・専門学校（2年制の場合）...卒業までの2年間で、約220万円

※短期大学は、3年制もあります。学校やコースによって異なります。

※専門学校は、1年制・3年制・4年制もあります。学校やコースによって異なります。

※上記に、医療系の学校は含まれません。私立の医療系（大学・短大・専門学校）は学費が高額になる傾向があります。

16

進学に必要な費用



じゅけんりょう

・受験料 (受験するときに支払うお金)

国公立大 約 35,000 円、私立大文系・理系 約 35,000 円、専門学校 約 20,000 円

にゅうがくきん

・入学金 (入学した年にだけ支払う)

国公立大 約 250,000 円、私立大文系・理系 約 250,000 円、専門学校 約 200,000 円

じゅぎょうりょう

・授業料 (年2回に分けて卒業まで毎年払う)

国公立大 約 500,000 円、私立大文系・理系 約 900,000～1,250,000 円、専門学校 約 600,000 円～1,000,000 円

しよけいひ

・諸経費 (施設設備費、実習費など、呼び方は様々)

国公立大 約 5,000～150,000 円、私立大文系・理系 約 150,000～400,000 円、専門学校 約 200,000～700,000 円

きょうざいひ

※教材費など (入学後すぐに必要となるお金)



まず、進学に必要な費用の種類について説明します。

※金額については、あくまで目安です。学校によって大きく異なりますので、詳細な金額については各学校に問い合わせてください。

※目安の金額は、全国の平均額や各学校が公表している実際の金額を参考にしています。

・受験料

学校を受験する時に支払うお金です。

・入学金

学校に合格した後、入学の意思を表示するために支払うお金です。必要になるのは入学した年だけで、2年目以降は支払う必要はありません。期限までに入学金を支払わなければ、その学校に合格しても、入学することはできません。

・授業料

1年で「前期・後期」の2回ずつ、卒業するまで毎年支払います。

・諸経費

授業料以外に必要なお金です。1年目は一回で支払い、2年目からは前期・後期の2回ずつ支払う形式の学校が多いです。

・その他、教材費など

授業に必要な教科書、実習器具、制服代など、必要に応じて支払うお金です。

17

進学に必要な費用 (1年目)



PRESENTATION

れい こっこうりつだいがく

(例) 国公立大学

じゅけんりょう 受験料	にゅうがくきん 入学金	じゅぎょうりょう 授業料(1年目)	しよけいひ 諸経費 (施設設備費・実習費・ 自治会費・保険料など)	ねんめ がくひ 1年目の学費 ごうけい 合計
センター試験 (3科目以上) 18,000円 + 二次試験 17,000円 ごうけい 合計 約 35,000円	約 250,000円	約 500,000円	約 5,000円 ~約 150,000円 ※学部・学科により 大きく異なる	約 790,000円 ~約 935,000円
にゅうしまえ 入試前	ごうかくはつびょうご 合格発表後 (3月)	かい ぶんかつ 2回に分割 (3月/9月)	じゅぎょうりょう おな ※授業料と同じ ばあい おお 場合が多い	

※あくまでも目安です。大学・学部・学科・コースによって異なります。

それでは、1年目に必要な学費を、進学先ごとに試算してみましょう。

まずは、国公立大学です。国公立大学は、私立大学と比べて学費が安いです。

※金額については、あくまで目安です。学校によって大きく異なりますので、詳細な金額については各学校に問い合わせてください。

※目安の金額は、全国の平均額や各学校が公表している実際の金額を参考にしています。

【受験料】センター試験を3科目以上受けた場合

18,000円+二次試験 17,000円=約 35,000円

【入学金】約 250,000円

【授業料 (1年目)】約 500,000円

【諸経費】約 5,000円~約 150,000円 (学部・学科により大きく異なります)

1年目に必要な学費 (国公立大学) は約 790,000円~約 935,000円です。

それぞれの費用の支払時期に、注意しましょう。

18

進学に必要な費用 (1年目)



PRESENTATION

れい しりつだいがく

(例) 私立大学

	じゅけんりょう 受験料 (1校あたり)	にゅうがくきん 入学金	じゅぎょうりょう 授業料 ねんめ (1年目)	しよけいひ 諸経費 (施設設備費・実習費・ 自治会費・保険料など)	ねんめ がくひ 1年目の学費 ごうけい 合計
文系	約 35,000 円	約 250,000 円	約 900,000 円	約 150,000 円 ～約 200,000 円 ※学部・学科により 大きく異なる	約 1,335,000 円 ～約 1,385,000 円
理系	約 35,000 円	約 250,000 円	約 1,250,000 円	約 200,000 円 ～約 400,000 円 ※学部・学科により 大きく異なる	約 1,735,000 円 ～約 1,935,000 円
	入試前	ごうかくはっぴりょうご 合格発表後 (9月～3月)	かい ぶんかつ 2回に分割 (12～3月/9月)	じゅぎょうりょう ※授業料と同じ ばいり ばいり 場合が多い	

※あくまでも目安です。大学・学部・学科・コースによって異なります。

次に、私立大学です。私立大学は、文系と理系で学費が大きく異なります。理系の方が学費が高い傾向があります。

※金額については、あくまで目安です。学校によって大きく異なりますので、詳細な金額については各学校に問い合わせてください。

※目安の金額は、全国の平均額や各学校が公表している実際の金額を参考にしています。

・文系大学の場合

【受験料】約 35,000 円

【入学金】約 250,000 円

【授業料 (1年目)】約 900,000 円

【諸経費】約 15,000 円～約 200,000 円 (学部・学科により大きく異なります)

1年目に必要な学費 (私立大学文系) は約 1,335,000 円～約 1,385,000 円です。

・理系大学の場合

【受験料】約 35,000 円

【入学金】約 250,000 円

【授業料 (1年目)】約 1,250,000 円

【諸経費】約 20,000 円～約 400,000 円 (学部・学科により大きく異なります)

1年目に必要な学費 (私立大学理系) は約 1,735,000 円～約 1,935,000 円です。

19

進学に必要な費用（1年目）



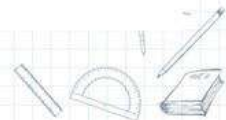
PRESENTATION

れい せんもんがっこう
(例) 専門学校

※あくまでも目安です。専門学校・学科・コースによって異なります。

じゅけんりょう 受験料 (1校あたり)	にゅうがくきん 入学金	じゅぎょうりょう 授業料 (1年目)	しよけいひ 諸経費 (施設設備費・実習費・ 自治会費・保険料など)	= ねんめ かくひ 1年目の学費 ごうけい 合計
約 20,000 円	約 200,000 円	約 600,000 円～ 約 1,000,000 円 ※学部・学科により 大きく異なる	約 200,000 円～ 約 700,000 円 ※学部・学科により 大きく異なる	約 1,020,000 円～ 約 1,920,000 円
にゅうし まえ 入試前	ごうかくほつびょうご 合格発表後 (9月～12月)	かい ぶんかつ 2回に分割 (12～3月/9月)	じゅぎょうりょう おお ※授業料と同じ 場合が多い	

※あくまでも目安です。学科・コースによって異なります。



次に、専門学校です。専門学校は、学校・学科・コースによって学費が大きく異なります。特徴がありますので、希望する分野や学校が決まったら、必要な学費を早めに確認するようにしてください。

※金額については、あくまで目安です。学校によって大きく異なりますので、詳細な金額については各学校に問い合わせてください。

※目安としている金額は、全国の平均額や各学校が公表している実際の金額を鑑みて、概数として表示しています。

【受験料】約 20,000 円

【入学金】約 250,000 円

【授業料（1年目）】約 600,000 円～1,000,000 円

【諸経費】約 20,000 円～約 700,000 円（学部・学科により大きく異なります）

1年目に必要な学費（専門学校）は約 1,020,000 円～約 1,920,000 円となります。



PRESENTATION

（例）私立大学を11月の学校推薦型選抜で受験した場合

しりつだいがく がつ がっこうすいせんがたせんばつ じゆけん ばあい
私立大学を2月の一般選抜で受験した場合は、2月～3月中の支払い

	にゅうがくまえ 入学前		にゅうがくご 入学後							
	こうこう ねん 高校3年	だいがく ねん 大学1年	だいがく ねん 大学2年		だいがく ねん 大学3年		だいがく ねん 大学4年			
	がつ 11月～ がつちゅう 12月中	こうき 後期 がつ (9月)	ぜんき 前期 がつ (4月)	こうき 後期 がつ (9月)	ぜんき 前期 がつ (4月)	こうき 後期 がつ (9月)	ぜんき 前期 がつ (4月)	こうき 後期 がつ (9月)		
にゅうがくきん 入学金	□									
じゅぎょうりょう 授業料	△	△	△	△	△	△	△	△		
しよけいひ 諸経費	○		△	△	△	△	△	△		

□:1回だけ ○:1年分 △:半年分(1年分の半額)

ある学校の例です。「11月に私立大学の“学校推薦型選抜”で受験した場合です。

・まず合格発表の後、(高校3年生の)11月～12月中に「入学金」「授業料(前期)」「諸経費」を支払います。

(2月の一般選抜の場合は、(高校3年生の)2月～3月中に支払います)

・入学してから、大学1年の9月に、「授業料(後期)」を支払います。

・その後は、卒業までの毎年、4月に「授業料(前期)」と「諸経費(前期)」を支払います。

9月には「授業料(後期)」と「諸経費(後期)」を支払います。

21

し はら ほうほう じ き 支払い方法と時期



PRESENTATION

しよねん ど がく ひ
初年度学費は・・・

かい わ し はら
【2回に分けて支払います】

き ほんてき
(基本的なケース)

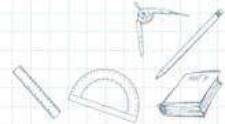


にゆうがくまえ こうこうざいこうちゆう し はら
① 入学前 (高校在学中に支払う)

にゆうがくご しんがくご し はら
② 入学後 (進学後に支払う)

ちゅうい
※ 注意 ※

きんねん どくじ せいど もろ がっこう
近年、独自の制度を設けている学校もあります。



簡単に言えば、初年度学費（1年目に必要になる学費）は【2回に分けて支払う】というのが基本的なケースです。

1回目：入学前（高校在学中に支払います）

2回目：入学後（進学してから支払います）

この中で、高校在学中に支払う「1回目」の金額が、意外に高額なので注意しましょう。次のページで詳しく見てみます。

※支払い回数については、細かく分割が可能 など、学校によって特別な制度がある場合もあります。

スケジュール一例（一般選抜）

ごうかくはつひよう いっしゅうかん い ない
合格発表から一週間以内に
しはら
支払わなければならない！

	にゅうし び 入試日	ごうかくはつひよう 合格発表	いちじ てつづ 一次手続き	にじ てつづ 二次手続き	にゅうがくご 入学後
だいがく A大学 がくぶ 経済学部	2/7	2/13	2/20	3/9	
だいがく B大学 がくぶ 経済学部	2/15	2/24	3/2	3/23	

ねんど
※年度によってスケジュールは異なります。

がくぶ がっか にゅうし ほうしき
※学部・学科・入試方式によっても異なります。

支払いスケジュールの例です。ある大学入試（一般選抜）の実際の手続き日を見てみましょう。

A 大学経済学部は、入試日が 2/7、合格発表が 2/13。一次手続きは 2/20 まで、二次手続きは 3/9 までが納入期限です。

B 大学経済学部は、入試日が 2/15、合格発表が 2/24。一次手続きは 3/2 まで、二次手続きは 3/23 までが納入期限です。

年度や、学部・学科、入試方法によってもスケジュールは異なりますが、

「合格発表から一週間以内」に一時手続きを行わなければならないことも多いので、試験を受ける前からお金の準備をしておきましょう。

※B 大学が第一志望、A 大学が第二志望の場合、もし A 大学に合格したら、一次手続きまでは終わらせておかなければなりません。B 大学の合格発表を見てから、A 大学の手続きをすることはできません。

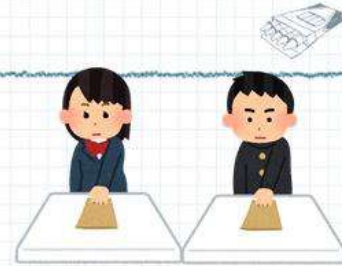
23

支払い方法と時期

PRESENTATION

【入学前に支払う費用】

高校生のうちに、平均で約 80～100万円



	こもく 項目	しほら きげん 支払い期限
じ て つ づ 1次手続き	にゅうがくきん 入学金	ごうかくはっぴょうご 合格発表後、 <u>1～2週間以内</u>
じ て つ づ 2次手続き	ぜん き じゅうぎょうりょう ・前期授業料 しよけいひ ・諸経費	かくがっこう 各学校により納入期限が異なる (※)

(※) 学校推薦型・総合型で受験し合格した場合は、高校3年の
12月頃を2次手続きの締切にしている学校が多い

入学前（高校在学中）に支払う費用は、平均で【約 80 万円～100 万円】必要です。
このまとまった金額を、期限までに支払うことができるように準備しておかなければなりません。する必要があります。

※あくまで目安です。

まず、一次手続きとして「入学金」を払います。納入期限は合格発表から 1～2 週間以内の学校が多いです。

※学校によって異なります。

次に、二次手続きとして、「前期授業料」「諸経費」を払います。納入期限は学校によって異なります。各学校の指定する期日までに支払う必要があります。

※学校推薦型・総合型で受験して合格した場合は、二次手続きの期限を「高校 3 年生の 12 月頃」としている学校が多くあります。



PRESENTATION

にゅうがくご しはら ひよう
【入学後に支払う費用】

	こうもく 項目	しはら じき 支払い時期
のこ じゅぎょうりよう 残りの授業料	こう き じゅぎょうりよう ・後期授業料 しよけい ひ (諸経費)	にゅうがくご がっこう 入学後の9月頃
きょうざい ひ 教材費など	きょう か しょ ・教科書 じっしゅう び びん ・実習備品 せいふく ・制服 など	がっこう にゅうがくご ひつよう 学校により、入学後すぐに必要に

(※) がっこう 学校によっては きょうざい ひ 教材費などが しよけい ひ ふく 諸経費に含まれている場合が ばあい あります。

入学後に支払う費用についてです。

「後期授業料」は、入学後の9月頃に支払います。

(「諸経費」は、学校によっては後期にも納入する必要があります。)

その他の教材費(教科書、実習備品、制服など)は、学校によって納入期限が異なりますが、入学後すぐに必要になる場合がありますので、早めに確認しておきましょう。

※学校によっては、諸経費の中に教材費などが含まれている場合があります。



PRESENTATION

がっこう
＜学校によっては…＞

がくひ ぶんのお えんのお せいど もう ばあい
学費の「分納」・「延納」制度を設けている場合もある

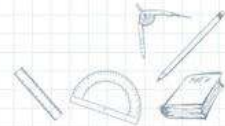
がっこう こと かなら かくにん
※学校によって異なるので、必ず確認！

けんがくかい せつめいかい さんか にゅうしゆ
（見学会・説明会への参加 / パンフレット入手）

さいしゅうてき しはらいきんがく か
※最終的な支払金額は変わらない

しんせい か のう き かん き もう こ
※申請可能期間が決まっているので、申し込みを

わす ちゅうい
忘れないように注意！



学費の支払い方法と時期については、学校によって様々な制度があります。

学校によっては、学費の「分納（分けて払う）」・「延納（少し遅く払う）」制度を設けている場合もありますので、各学校に問い合わせてみましょう。

※学校によって制度の内容は異なるので、必ず確認しましょう。

学校の説明会・見学会に参加したり、学校パンフレットを入手したり、電話で問い合わせをしたりすると、いいでしょう。

※「分納」・「延納」制度を利用しても、支払う金額は同じです。

※「分納」・「延納」制度を利用するには、そのための申請が必要です。申請が遅くならないように注意しましょう。

26

しんがくしきん こま 進学資金に困ったら…



PRESENTATION

ほんとう しんがく
1. 本当に進学したいのか？



いろいろ がっこう しら
2. 色々な学校を調べてみたか？ (もっと学費をおさえる方法はないか？)



てもと きょういくしきん じゅんび
3. 手元にはいくら教育資金の準備があるか？



しょうがくきん りよう
4. 奨学金の利用

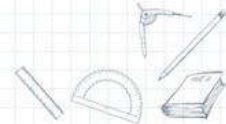
※給付型 → 貸与型(無利子) → 貸与型(有利子)



きょういく りよう
5. 教育ローンの利用

じゅんばん
この順番で、
いちどかくにん
もう一度確認しよう！

ほんとう ひつよう ばあい りよう
本当に必要な場合のみ利用



「進学資金が用意できない、困った…」というときには、お金を借りる前に、次のような順番でもう一度確認しましょう。

1. 自分は本当に進学したいのか？ をよく考えましょう。色々な進路があります。



2. いろいろな学校を調べてみたか？ 学費を抑えて通える学校もあります。(スライド 27)



3. 実際に手元にはいくら教育資金の準備があるか？

保護者の人と早めに話し合っ、**「大体いくら」ではなく、しっかり金額を確認しましょう。**



4. 奨学金の利用

本当に必要だと思ったら、「奨学金の利用」を検討しましょう。奨学金についてもきちんと情報を確認しましょう。多くの奨学金は「借金」です。返済しなければなりません。



5. 教育ローンの利用

どうしてもお金が足りなければ、教育ローンの利用を検討しましょう。もちろん「借金」ですから、書類・手続きが多く、保証人が必要で、厳しい審査があります。



PRESENTATION

がくひ おさ ほうほう しら
「学費を抑える方法」を調べよう

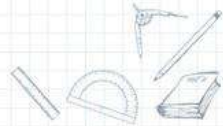
① かくがっこうどくじ しょうがくきんせいど かつよう
各学校独自の奨学金制度を活用

② とくたいせいにゆうし
特待生入試にチャレンジする

③ はたら まな がっこう
働きながら学べる学校（デュアルシステム）

④ がくひ やす がっこう
学費が安い学校

れい こうりつ しょくぎょうくんれんこう やかんぶ つうしんせい
(例)公立の職業訓練校、夜間部・通信制など



「学費を抑える方法」についていくつか紹介します。

①各学校の「独自の奨学金制度」を活用する

各大学・短大・専門学校で、独自に奨学金制度を設けている学校があります。

例えば、「成績上位●●名に、返還不要の奨学金」「成績上位3位までの生徒は授業料半額」などです。各学校のホームページやパンフレットなどで調べてみましょう。

②「特待生入試」にチャレンジする

特待生入試の制度がある学校があります。「特待生」は、成績が優秀な生徒を優遇する制度です。入学金が減免・免除されたり、授業料が減免される場合があります。

※特待生入試があるという理由だけで、安易に学校を選ぶことはやめましょう。

③働きながら学べる学校を調べる（例：デュアルシステム）



学校に通いながらも、働いて収入を得る「デュアルシステム」などもあります。

※「デュアルシステム」以外に、「自立進学制度」など、学校ごとに名称が異なります。

④「学費が安い」学校を調べる

例えば、公立の職業訓練校。「職業能力開発センター」や「高等技術専門校」など呼び方は様々ですが、年間約12万円程度で通い、資格取得を目指すことができます。

同じ大学・短大・専門学校でも、「夜間部」や「通信制」を選択する方法もあります。

28 しながくしきん こま 進学資金に困ったら・		おも しゅるい 主な2種類
	しょうがくきん 【奨学金】	きょういく 【教育ローン】
か ひと 借りる人	がくせい ほんにん 学生 本人 	おとな 大人  いってい しゅうにゅう もの (一定の収入がある者)
いつから借りられるのか	にゅうがくご か のう 入学後から可能	にゅうがくまえ か のう 入学前から可能
りし 利子 たいよがた (貸与型)	あり だい しゅ ぼ あい む り し ※第1種の場合は無利子	あり しょうがくきん たか おお ※奨学金より高いものが多い
か きんがく 借りられる金額	まいつきすうまんえん 毎月数万円	いちど きんがく 一度にまとまった金額
せいど だいひょうれい 制度の代表例	にほんがくせいしえんきこう しょうがくきん 日本学生支援機構 奨学金	くに きょういく 国の教育ローン にほんせいさくきんゆうこうこ (日本政策金融公庫)

【奨学金】と【教育ローン】について説明します。

※どちらもたいてい「借金」で、「借りたお金」より「返すお金」の方が多いです。どうしても必要な場合、そして返済できる場合のみ、利用してください。

表で比較して見てみましょう。

・借りる人

奨学金は「学生本人」、教育ローンは「大人（一定の収入がある者）」が対象です。どちらも保証人や機関保証が必要です。

・いつから借りられるのか

奨学金は「入学後」から、教育ローンは「入学前」から借りることができます。

・利子

奨学金（貸与型）は、第1種の場合は無利子、第2種の場合は有利子です。教育ローンは利子があります（奨学金よりも利子が高い場合が多い）。

・借りられる金額

奨学金は「毎月、数万円ずつ」、教育ローンは「一度にまとまった金額」を借りられます。

・制度の代表例

国の制度で、奨学金は「日本学生支援機構(JASSO)」、教育ローンは「日本政策金融公庫(JFO)」があります。

29	しょうがくきん たいよがた 奨学金(貸与型)	にほんがくせいしえんきこう 代表例 【日本学生支援機構】
実施機関	にほんがくせいしえんきこう 日本学生支援機構	
種類	① 第1種(利子なし) ※毎月20,000～64,000円を貸与 【対象】特に優れた学生・生徒/経済的理由により著しく修学困難な学生・生徒	
	② 第2種(利子あり) ※毎月20,000～120,000円を貸与 ※年利3%を上限。在学中は無利子、返済も可 【対象】第1種よりもゆるやかな基準によって選考された学生・生徒	
対象学校	大学・大学院・短期大学・専門学校(認可) ※予備校、無認可校は対象外	
貸与対象	学生(本人) ※保証人もしくは機関保証(有料)が必要	
返済期間	最大20年以内 ※卒業して半年後から返済する	
申込方法・ 時期	① 予約申し込み(入学前年、4～6月など) 在学中の学校などにて	
	② 在学申し込み(入学後、4～5月) 進学先の学校にて	
(※) 日本学生支援機構の奨学金には、給付型もあります。		

代表例として「日本学生支援機構（JASSO）」の奨学金について説明します。

「貸与型（返す奨学金）」と「給付型（もらう奨学金）」があります。

○「貸与型」は「入学後に毎月数万円ずつ（最大で12万円）を貸与する」ものです。

（進学分野により増額もあります。貸与額の詳細は次のスライドにあります。）

奨学金（貸与型）には「第1種」と「第2種」の2種類があります。

・「第1種」（利子なし）…特に成績が優秀で、経済的理由から修学困難な学生・生徒が対象です。学力基準（評定平均3.5以上）と家計基準（3人世帯なら給与所得657万円以内、給与所得以外286万円以内であること、家計基準は世帯人数によって変動）があります。※住民税非課税世帯であり、優れた学習成績を修め、特定の優れた資質能力がある（もしくは学修意欲が高く卒業見込みがある）学生・生徒に関しては学力基準は適用されません。

・「第2種」（利子あり）…第1種ほど厳しい条件はありません。

年（365日あたり）3%を上限とする利息がつきます（在学中は無利子）。学力基準（成績が平均水準以上、もしくは特定の優れた資質能力があること、もしくは学修意欲が高く卒業見込みがあること）と家計基準（3人世帯であれば給与所得1,009万円以内、給与所得以外601万円以内であること、家計基準は世帯人数によって変動）があります。

※返済は、最大で20年以内で、「定額返還方式」と「所得連動変換方式（第一種奨学金のみ選択可能）」の2種類より選択できます。卒業して半年後から返済が始まります。

30		しょうがくきん たいよがた 奨学金(貸与型)		にほんがくせい し えん き こう 代表例 【日本学生支援機構】	
PRESENTATION					
【返済スケジュール(例)】※第2種					
くぶん 区分	たいよげつすう 貸与月数	たいよそうがく 貸与総額	へんさいげつがく 返済月額	きかん 期間	へんさいそうがく 返済総額
まんえん 5万円	かい 48回 ねんかん (4年間)	えん 2,400,000円	えん 16,769円	かい 180回 ねん (15年)	えん 3,018,568円
まんえん 12万円	かい 48回 ねんかん (4年間)	えん 5,760,000円	えん 32,297円	かい 240回 ねん (20年)	えん 7,751,445円

22歳～37歳まで
毎月返す

借りの金額より
約60万円も多い!

22歳～42歳まで
毎月返す

借りの金額より
約200万円も多い!

※ 定額返還方式の場合
※ 年利3%で計算

次に、奨学金（貸与型）の返済スケジュールを見てみましょう。

日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（貸与型）の第2種を大学4年間利用した場合です。
 （「年利3%」、「定額返還方式」の場合で試算します）

【月額5万円を選択した場合】

毎月5万円を4年間、48回借りると、貸与総額（借りるお金の合計）は2,400,000円です。
 15年で返していくので、返済月額は16,769円です。15年間、22歳から37歳まで毎月返すと、返済総額は3,018,568円です。実際に借りの金額より60万円以上多く返すわけです。

【月額12万円を選択した場合】

毎月12万円を4年間、48回借りると、貸与総額は5,760,000円です。20年で返していくので、返済月額は32,297円です。20年間、22歳から42歳まで毎月返すと、最終的に返済総額は7,751,445円です。実際に借りの金額よりも、約200万円多く返すわけです。このように、返済にはかなり長い期間がかかり、利子がかかる第2種奨学金では、借りの金額より多くのお金を返さなければなりません。このようにシミュレーションをして、必ず返せるのかどうかをよく確認してから、貸与金額を選びましょう。JASSOのホームページでも返済額を試算できるページがあります。ぜひ利用してみてください。

※年利の上限3%ですが、2019年現在は1%未満で推移しています。実際はこの試算よりも少額になる可能性があります。多めに見積もって用意しておくようにしてください。

31 きょういく 教育ローン		くに きょういく 【国の教育ローン】	
じっし きかん 実施機関	にほんせいざくきんゆうこう こ 日本政策金融公庫		
ないよう 内容	こども1人につき最大 350万円 まで融資		
りりつ 利率 (2019年1月現在)	ねん 1.78% (母子・父子家庭、年収200万以下は1.36%)		
たいしょうがっこう 対象学校	だいがく だいがくいん たんき だいがく せんしゅうがっこう よびごう 大学・大学院・短期大学・専修学校・予備校・など		
たいよ たいしやう 貸与対象	ほごしゃ 保護者 ※保証人もしくは機関保証(有料)が必要		
へんさい きかん 返済期間	ねん いちふ 15年以内 (一部は18年) ※借りた翌月から返済する		
じき 時期	いっずでも可能 (合格発表前でも申請可能)		
もうしごみほうほう 申込方法	ぜんこく 全国にある支店窓口にて相談できる		
しんさ 審査	しんせいしよるい てつづ おお きび 申請書類・手続きが多く、厳しい		

次に、「日本政策金融公庫 (JFO)」の教育ローンについて説明します。「子ども1人につき、350万円以内を融資する」ものです。

※融資限度額内なら、何回かに分けて借入れが可能です。

※外国の短大・大学・大学院に6か月以上在籍する資金として利用する場合は450万円以内となります。

上の表の通りですが、貸与対象者(お金を借りて、返す人)は、保護者(主に生計を維持している人)です。保証人が必要で、公益財団法人教育資金融資保証基金が連帯保証人から選べます。利用の条件には、世帯収入の上限額があり、扶養している子どもの数によって決まります。利用する前に審査が必要で、返済ができるかどうかを厳しく見られます。融資を受けられるか、受験直前ではなく、早めから確認しておきましょう。

利率は現在、年1.78%(2019年1月現在)です。固定金利制ですから、最初の金利が満期まで適用されます。返済の期間は15年以内で、借入日の翌月(または翌々月の返済希望部)から返済が始まります。返済方法も「元利均等返済(元金と利息を合わせた一定の金額を毎月返済する)」か「元金据置(在学期間中は利息だけ支払い、卒業後から元金と利息を合わせて返済する)」か、選べます。

※家庭の状況によって、利率や返済のための期間は少し変わります。

32

きょういく
教育ローン

だいひょうれい 代表例

くに きょういく
【国の教育ローン】

PRESENTATION

へんさい れい
【返済スケジュール(例)】

か よくけつ
借りた翌月から
ねんかん まいつしかえ
15年間、毎月返す

たいよがく 貸与額	へんさいきかん 返済期間	へんさいげつがく 返済月額 (目安)	へんさいそうがく 返済総額
300万円	15年	20,000円	3,600,000円
200万円		13,000円	2,400,000円

※ 均等返済の場合

か きんがく
借りた金額より
まんえん おお
60万円も多い!

か きんがく
借りた金額より
まんえん おお
40万円も多い!

それでは、教育ローンの返済スケジュールを見てみましょう。

日本政策金融公庫（JF0）の教育ローンを大学4年間利用した場合を考えてみましょう。
均等返済の場合で、返済月額は目安として表記しています。

【300万円 借りた場合】

借りた翌月から15年間、毎月2万円返済します。返済総額は360万円で、実際に借りた金額より60万円多く返済します。

【200万円 借りた場合】

借りた翌月から15年間、毎月1万3千円を返済します。返済総額は240万円で、実際に借りた金額より40万円多く返済します。

奨学金と同じように、返済にはかなり長い期間がかかります。そして、借りた金額よりも多くのお金を返していかなければなりません。

借りる前に、返済シミュレーションをして、必ず返していくことができるのかをよく確認してから、利用してください。



PRESENTATION

しんがくひよう こま
進学費用に困ったときは、

じぶん す くしやくしょ
自分の住まいのある区市役所や、

しんがくよてい だいがく せんもんがっこう そうだん
進学予定の大学（専門学校）でも相談にのって
もらえます。



進学にかかるお金は、とても大きな金額です。進学費用に困ったときは、自分の住んでいる所の区役所や市役所、進学予定の大学（専門学校）でも、相談にのってもらえます。家族だけで悩むのではなく、信頼できる機関や団体に、早めに相談するようにしましょう。

34

利用の注意点

PRESENTATION

借りたお金は返さないといけません。

お金を借りた時点で**借金**になる

ということを理解して、慎重に利用して下さい。



奨学金をきちんと返さない場合には、信用情報が登録され、たとえ返し終えても5年間は記録が残り、クレジットカードや住宅や車などを買う際のローン利用などが制限される可能性があります。

「奨学金（貸与型）」と「教育ローン」は、どちらも「借金」です。借りたその日から「借金」していることとなります。「借りたお金は必ず返さなければならない」ということを理解して、慎重に利用するようにしましょう。

奨学金（貸与型）をきちんと返さない場合には、延滞 3 か月以上になると個人信用情報機関に個人情報が登録されます。個人信用情報機関に延滞者として登録されると、その情報を参照した金融機関等がその人を「経済的信用が低い」と判断することがあります。そのため、クレジットカードが発行されなかったり、利用が止められたりすることがあります。各種料金（公共料金や携帯電話等）の引落とし、ショッピング（インターネット含む）等ができなくなる場合があります。また、自動車ローンや住宅ローン等のローンが組めなくなる場合があります。一度登録された情報は、延滞中はもちろん、遅れて支払っても、登録されたままになり、返還完了の 5 年後まで削除されません。

奨学金（貸与型）は滞納せずに返済するよう努力していきましょう。そのためにも、奨学金（貸与型）を借りる場合は「返せる金額で借りる」ことが大切です。必要以上にお金を借りてしまうと、社会人生活をスタートさせる時、すでに多くの借金を背負っていることになってしまいます。

さくせい かぶしきかいしゃ しん る じょうほう
作成 株式会社 進路情報ネットワーク
しゃかいふく し ほうじん ほんきょうざい せきにんしゃ や ざきり え
社会福祉法人さぽうと21 (本教材の責任者：矢崎理恵)

しゃかいふく し ほうじん
社会福祉法人さぽうと21
とうきょう と しながわ く かみおおきき
〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-2 ミズホビル 6階
Tel : 03-5449-1331 Fax : 03-5449-1331 E-mail : info@support21.or.jp
Homepage : <http://www.support21.or.jp>